

京城日報

支那語速成講座

新學期開始 (六ヶ月完了)

分科合本
全六巻を各科目毎に分けた上、各科目毎に、
東方文化會
大坂屋書店

世の進運に伴ひ

撰穀機の一大大發明
精米業の福音
第貳次大八號 笹田式撰穀機

威權の界機穀撰

各地精米業者の好評を博せり。
他機に迷はず。
御試用を乞ふ。

金田實水町二丁目二五
製造所 笹田農具製造所

京都府南米倉町 田村 伊三郎
朝餅一手特約店 今村 伊三郎

日本共立火災保險株式會社

資本金 五百萬圓

一、當會社は賠償を本旨とし御便利に業務御取扱可申候。
電話又は御一報火災社員上可仕候。

鮮内代理店 東京府山手区大塚 大塚大商店
支店 東京府山手区大塚 大塚大商店
支店 東京府山手区大塚 大塚大商店

科學新報年特大號

最新の知識、清新の内容、快感の生理

性科學の不完全
天文太陽の黒點
地球の自轉を知法
日本の國土と動植物
男性と女性
物質觀の變遷
面白屋の効用
巨人エヂソン
シイロスコープの話
大洋横斷航空設備
ダイヤル式發電機の話
單軌懸吊飛行鐵道の話
ポンプのいろいろの話
乾ドックと浮ドック
宇宙飛行の可能性
科學と人生

早稻田大學講義

政治經濟學講義
法律講義
文學講義
中學講義
商業講義
女學講義

商店界廣告

成功賣出實例
資本要らずの賣出案
商店日記

に關する事
でありま
す。依願に
應ず事であ
り。低限な
る。依願に
應ず

今年の財界

今年もまた、財界は、戦後最大の危機に陥つた。戦時中、財界は、戦費の調達、物資の配給、戦後の復興、と、戦時中最大の責任を負つた。戦時中、財界は、戦費の調達、物資の配給、戦後の復興、と、戦時中最大の責任を負つた。戦時中、財界は、戦費の調達、物資の配給、戦後の復興、と、戦時中最大の責任を負つた。

鳴鶴江材で 外材の輸入を防止

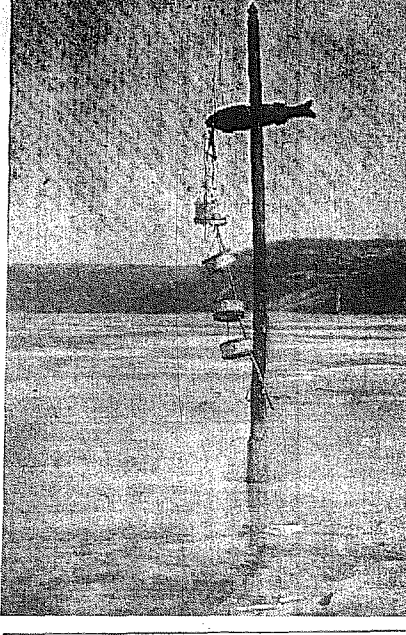
従来、森林政策を根本的改善 國家永遠の大策を樹立する 現内閣の満蒙政策

職業教育の徹底

文部省で講習會 全國関係者を集め

水上の指標

女尊男卑の指標 女は弱く母性強し



漁業法の改正案

根本的改正を断念して 今国会提出の意気込み

全國水産大 會開催

明春東京で

肥料管理法案

肥料委員会設置

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

地方自治の 自動車を圧迫する

對策に電化を計画

減配通告

鐵道省不成就 業を煮す

東洋温泉 旅館 電話二九番

小児科 藤本醫院 花柳病専門療院

五番印 英國ウスキー

美味佳香の菓子状を呈し 普通肝油と異なり特に消化吸収容易

日英米佛專賣特許 肝油ドロップス

文獻說明書 肝油ドロップスの特色

如斯人は肝油ドロップスを用ふべし

濃厚肝油

本館丸見屋商店

第一銀行 支店 京城

三洋電機 賞状

ガササ 所賣發 所部商酒屋嶋 城京

肝油ドロップス

肝油ドロップス

肝油ドロップス

肝油ドロップス

肝油ドロップス

肝油ドロップス

山林の濫伐は
墓穴を掘るが如し

敢て地方有識者に懇ふ
藏石忠北道技師談

[illegible]

擴張工事

一月中以完成

[illegible]

湖南繪行脚

野田全北内務部長



十三 共同丸

暴風雨の

[illegible]

社外船問題

[illegible][illegible]

新御賣白粉

生々とした美しさ、
純無鉛なので安心して使はれ、鮮やかな生々とした
美しさにつき、お肌を養ひ真から色艶を佳くする
美容と健康に適った




伊豆月島

院長醫學博士植村俊二
外科
植村病院
東京永樂町二丁目
電話本局三二九二番

小林商會
小 林 茂
電話長百十四號

据風呂
 便利・高尚・安全
 新開張「大井」五五
 年間に一回、煙も燃やして陶突抽
 煙の有害物前におかけ
 使用者は若くも退散たと云ふ



許

義主寧丁切
(備設反咬部全室密)
館旅屋
番八五四話電
町旭府壤

石川縣金澤市願馬町
高井兄弟商會
發明機製作營業部



大豆動力専用機



動力大形機
専用

足の上行
下げ調整可

運轉が軽い
機構がよい

五親の油

正

味のよい
香のよい
利のよい

浦角 所産 藤本

石 二重風力利用二段石拔
草刈式
二重型 石拔唐箕
力ダロク一級續表推薦
仁川府仲町
草刈農具製作所

タオール製造
綿布仕立品
メリヤス一式
卸問屋

釜山府長手通
村上タオール工場

電話五〇五五
五〇五五

本 店 大坂市東區五町二丁目

株 式 會 社

京 城 府 黃 金 町 二 丁 目

資 本 金 五 十 萬 圓

支 店

東京 大阪 名古屋

京都 神戸 岡山

福岡 御影 和歌山

秋田 外金等四十ヶ所

ウズリハツギズ

ヤクシュ、ハイヤク、コウチョウヤク、
イリョウキカイ、クシヨウビン、

オロシ、コウリ

會社 山 岸 天 佑 堂

カイジョウフ ホウマチ イチヨウ

ギョウ ホウキョウ { 722. 2014.
2896. 7013.
フリカハ コウザ ケイジョウ 207 フウ

マイツキ エイキョウ ゴザツウ ラ ハツコ イタシマス

京坂南大門町二丁目朝鮮殖産銀行
(朝鮮總督府勅書館前)
上野小兒科醫院
主 上野和
電話 本局 登二五五

改良せんべい機
 傳説ニ曰クせんべい製造ハ不況ニ關セズ努力ト奮闘ノ程度ニヨリ成功ス
 機械製造元 名古屋市中野鐵工所
 胡餅一手販賣所
 八千代
 飛天印切置機 八千代
 山崎造元 八千代
 電話 二丁目 電話 〇一 番
 電話 〇一 番
 電話 〇一 番

於第七期
優等獎受領
尚德南釀造品
品評會

芳醇無比



店約野河
店酒
元造釀
社會式株造酒達

路錦城京
司麥山

歌壇轉舵

田島二郎
「歌壇」は思ひの外、最近、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「歌壇」の中心が、従来の「歌壇」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「歌壇」の中心が、従来の「歌壇」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「歌壇」の中心が、従来の「歌壇」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。

新感覺派の出現

日本文壇の新現象
金子光晴

「新感覺派」の出現は、日本文壇に大變な新現象を生じた。それは、先づ、その「新感覺派」の中心が、従来の「新感覺派」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「新感覺派」の中心が、従来の「新感覺派」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「新感覺派」の中心が、従来の「新感覺派」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。

女家主

葉山俊一郎作
葉山俊一郎譯

「女家主」は、葉山俊一郎氏の傑作である。それは、先づ、その「女家主」の中心が、従来の「女家主」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「女家主」の中心が、従来の「女家主」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「女家主」の中心が、従来の「女家主」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。

京日短歌

尾上紫舟選

「京日短歌」は、尾上紫舟氏の傑作である。それは、先づ、その「京日短歌」の中心が、従来の「京日短歌」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「京日短歌」の中心が、従来の「京日短歌」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「京日短歌」の中心が、従来の「京日短歌」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。

二人の百姓

畑喜代司作
櫻井紅風書

「二人の百姓」は、畑喜代司氏の傑作である。それは、先づ、その「二人の百姓」の中心が、従来の「二人の百姓」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「二人の百姓」の中心が、従来の「二人の百姓」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。それは、先づ、その「二人の百姓」の中心が、従来の「二人の百姓」の中心から、大變な轉舵を打つてゐる。

入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文
入具夜化文

領受賞等優
チンカンマ
元造藤
社會式株酒金丸
電話二五五五番 月一町平富山

朝鮮殖産銀行
資本金 參千萬圓
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行
株式 朝鮮殖産銀行

油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最
油醬噌味主最

空寒き
今日此頃の御洗顔御入浴に
は別けても、作用の緩和な
ミツワ石鹸
三倍以上も永保してお徳用な
Mitsuba Soap
MADE IN JAPAN
本舖 東京 ○丸見屋商店

